伊賀市　事務事業評価シート

施設の管理・運営

	コード	名　　称		コード	名　　称
事業名	19	庁舎維持管理経費	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本施策	99		項	01	総務管理費
			目	01	一般管理費
担当部課名	大山田支所総務振興課		細目	102	庁舎管理経費
作成者氏名	池口　法行	連絡先　47-1150（内線230）	細々目	01	庁舎維持管理経費

事業の計画・内容

	対象等（何を、誰を）	成果（どうなるのか）
設置目的	庁舎及びその付帯設備 来庁者 職員	安全に業務を執り行えるための環境の維持。同時に契約の見直しを行い適正な事務の執行が行え、コスト削減が可能。また設備の保守点検を実施することで、事故及び故障を未然に防止することができる。 庁舎の美化を図ることで、来庁者への印象、及び職員の意欲向上につながる。
本年度事業内容	庁舎清掃業務の委託 大山田支所庁舎付帯設備の各種保守点検の実施。（合併浄化槽保守点検、自動ドア保守点検、消防用設備保守点検、自家用電気工作物保安委託等） 各種法令に基づいた検査の実施。（ボイラー法定検査、浄化槽法定検査、ボイラーばい煙検査、庁舎地下タンク点検等） 庁舎の状況確認をし、不良部分の修繕を実施。 宿日直業務として、嘱託職員・臨時職員の雇用。	

運営主体	■　直営　　□　指定管理　　□　民間委託等 （委託先：　　）	根拠法令・要綱等	地方自治法
市内の類似施設	各支所庁舎		

投入資源

			H17	H18（予算）	H19（予算）
①投入人員	正規職員　（人）		2	2	2
	人件費合計（A）		14,400	14,400	14,400
②支出内訳（千円）	事業費（B）		16,485	17,906	16,926
		委託料	5,290	6,001	6,000
		業務職員報酬	4,578	4,626	4,626
		使用料及び賃	2,091	1,976	2,000
		その他	4,526	5,303	4,300
合計（A+B）			30,885	32,306	31,326
③財源内訳（千円）	特定財源	国県支出金			
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		30,885	32,306	31,326

上記①～③に関する特記事項

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17	目標値 H18	目標値 H19
庁舎清掃委託	円	2,604,000	2,750,000	2,750,000
設備維持管理業務委託料（法定検査用手数料含む）	円	2,956,813	3,310,000	3,310,000
庁舎修繕	円	1,142,486	1,350,000	1,350,000
使用料及び賃借料（電話機、モップ、マット、布団等）	円	2,091,783	1,976,000	1,976,000
嘱託職員・臨時職員雇用（宿日直業務）	人	7	7	7

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18（目標）	H19（目標）
設備維持管理業務委託料	委託内容の見直し（類似施設の同種の委託契約の一括入札等契約方法の見直し含む）をすることで、コスト削減につなげるため。	円	2,686,338 目標 （　　）	3,251,000	3,251,000
庁舎修繕	築41年が経過し、庁舎各部（付属設備含む）に損傷が表面化してもおかしくない状況の中で、庁舎の維持管理に努めていかなければならないため。	円	1,142,486 目標 （　　）	1,350,000	1,350,000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

大山田支所庁舎及びその付属設備については、設置以来対応年数を超える設備もあり、設備見直しの検討の必要がある。またコスト面を考えた場合同様の施設で、同様の保守点検業務を行っている施設があるため、それらの施設の業務委託を一括して行えば、コスト削減の余地があると思われる。

評価				総合評価
	必要性	4	大山田支所は大山田地域の拠点となる施設である。住民に利用しやすく、また災害時等に対応すべく今後も庁舎の保守・保安業務を積極的に実施していく必要がある。	B
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	2		